

① 地場産業の活用や交流人口の拡大などを通じた地域の活性化

C S R
重要課題

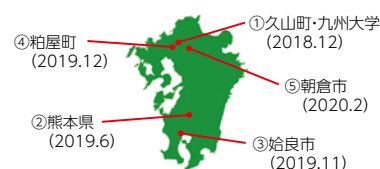
地場産業の振興と雇用創出



●自治体等との連携強化

九州電力(株)は、九州の自治体や学術研究機関との地域課題の解決やまちづくりに関する包括連携協定を通じ、九州地域の社会的課題の解決、持続可能な発展に貢献していきます。

■包括連携協定の締結状況



TOPICS

熊本県との地域課題の解決に関する包括連携協定

2019年6月、九州電力(株)は、産業振興・人口減少社会への対応等、熊本県が抱える課題に県と協働して取り組んで行くことを目的に、包括連携協定を締結しました。

現在、県が進める熊本空港周辺地域の発展に向けた産業振興や企業誘致について、九電グループの技術力やノウハウを活かした取組みを進めています。



●Qでん にぎわい創業プロジェクト

九州電力(株)は、地域の皆さまと協働し、継続性のあるビジネスモデルを構築することで、地域の課題解決を図る「Qでん にぎわい創業プロジェクト」を、2019年7月より開始しました。

本プロジェクトは、「地場産業振興」「商店街活性化」「交流人口拡大」をテーマとして、地域の皆さまと持続可能な地域課題解決ビジネスを企画し、協働で実施していくもので、2019年7月に、事業パートナーの公募を行いました。(37団体から応募)

現在、九州電力(株)・専門家・事業パートナー(長崎県東彼杵町と熊本県人吉市の各1団体)で構成する検討チームを設置し、具体的なビジネスモデルを検討中です。

※制度の詳細は、以下のURLを参照ください。

http://www.kyuden.co.jp/company_local-social_actionplan_index.html

そのぎ茶で有名な東彼杵町



球磨川くんだりで有名な人吉市



～各事業パートナーとの取組みの概要～

活動エリア	長崎県東彼杵町	熊本県人吉市
パートナー	一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社	一般社団法人 ドットリバー
解決に向けて取り組む 地域課題	人口減に加え、若年層は都市部 へ流出	中心市街地の飲食店は減少、 空き家が増加
取組みの概要	「茶」を中心とした商品開発・販 売事業の展開により地場産業 活性化・交流人口拡大を図り、 事業収益を活用した雇用創出・ 創業支援事業により移住定住 を促進	地域の歴史文化(相良藩700年 の文化等)や資源を活用した にぎわい拠点を中心市街地に 創り、新たな人の流れを創出 (回遊性向上)し、空き店舗へ のテナント誘致を促進

●一次産業の活性化

グループ会社のニシム電子工業(株)では、農業向けITセンサー「MIHARAS」(ミハラス)を提供し、農家の省力化等を支援しています。

また、九電産業(株)が運営するインターネット通販サイト「こだわり九州いいものめぐり」では、九州各地の逸品を紹介し、地域物産の振興を後押ししています。



九州各地の逸品を紹介する
「こだわり九州いいものめぐり」

こだわり九州いいものめぐり

検索

TOPICS

スマート農業の普及を目指して、イチゴの栽培実証に取り組んでいます。

九州電力(株)総合研究所では、「農業の省力化や生産性向上につながるスマート農業の普及」を目指した研究に取り組んでおり、その一環として、2019年8月、福岡県朝倉市に実証試験施設「上寺(かみでら)いちご園」を設置しました。

ここでは、これまで培ってきた「農業電化、養液栽培」等に関する技術やノウハウを活用し、「さがほのか」等、人気の品種を栽培しており、2019年11月には、初めて収穫されたいちごの試食会を地元の方々を招いて開催しました。

実証結果が農家の皆さまの生産性向上の一助となり、九州の一次産業の活性化につながることを目指します。



いちご栽培ハウス内



地元の方を招いた試食会

●商店街の活性化

長崎市平和町では、周辺に浦上天主堂や平和公園・爆心地公園といった多くの人が訪れる観光スポットがありながら、来訪者を商店街に集客できていないという課題がありました。

そこで、こうした地域の課題に取り組む地域団体を九州電力(株)がサポートし、商店街に人を呼び込み、賑わいを創出することを目的とした活動を行っています。具体的には、自治体等も巻き込みながら、ワークショップやプロトタイプ事業を行い、様々な地域活性化の取組みを検討・企画しています。

2020年度には、地域団体にて商店街の中心部に地域の方や旅行者の交流の場となるシェアキッチンを開業し、飲食店開業希望の方への創業支援の場としても活用しながら、平和町に人を呼び込み、賑わいを創出していくこととなりました。

また、今後は地域の方がガイドとなり周辺の観光スポットと商店街を案内するツアー事業や、日本や長崎の文化体験ができる体験プラン事業等も企画・実施し、更に地域の活性化に取り組んでいくこととしています。



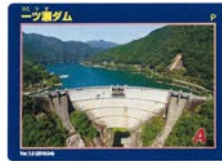
ワークショップでの事業検討



観光地と商店街を案内するツアーの試行実施

●観光の振興

九州電力(株)は、電力インフラ(ダム・発電所等)を活用したインフラツーリズムを推進しています。具体的には、地域の名所・観光施設等の訪問に加え、通常時には見学できない自社設備のご案内や設備点検の模擬体験等のプログラムを提供しており、2019年度は、旅行会社とも連携して佐賀・熊本・宮崎県においてツアーを開催しました。また、観光施設等と連携してダムカードも発行しており、大変好評をいただいています。



ダムカード

今後も、電力インフラを観光資源として有効に活用していくことで交流人口の拡大に貢献していきます。



宮崎県上椎葉ダム点検通路歩行体験

TOPICS

九州のインバウンド拡大に貢献します

グループ会社の九電産業(株)では、2020年2月よりインバウンド営業グループを新たに設置し、九州各地の自治体をはじめ、観光関連に携わる地元の皆さまと連携・協業を図りながら、インバウンド関連のプロモーション、コンサルティング、旅行企画販売等を行っています。

中華圏を中心にアジアから欧米まで幅広い国々を対象として実効性の高い誘客活動や持続性のある旅行企画を通じて九州の観光振興に貢献していきます。



●都市開発事業・空港運営事業

〔都市開発事業〕

2018年7月、九州電力(株)を含むコンソーシアムが福岡市青果市場跡地活用事業の事業者として選定され、地域に賑わいを生み出す大型複合商業施設の開業に向けた準備を進めています。

〔空港運営事業〕

九州電力(株)は、他企業との共同での公募選定を経て、福岡空港(2019年4月民間運営開始)及び熊本空港(2020年4月民間運営開始)の運営権を取得しました。今後、国際線を中心に航空ネットワークの拡充を図るとともに空港が新たな賑わいの拠点となるよう様々な取組みを行っていきます。



熊本空港の将来イメージ

TOPICS

都市開発、不動産、社会インフラ各事業の機能を統合し、「都市開発事業本部」を設置します

九州電力(株)では、都市開発、不動産、社会インフラ(空港運営等)の各事業について、これまで個々の組織で専門性を活かして取り組んできましたが、今後、事業間の連携を強化するとともに、社会動向に迅速かつ的確に対応しながら経営資源を戦略的に投資することで、事業の飛躍的な成長を目指していくため、これらの機能を統合し、2020年7月に「都市開発事業本部」を設置します。

同事業本部において、今後更に総合力を発揮しながら様々な案件に取り組んでいくことにより、皆さまの生活や経済活動を支え、地域・社会の発展に貢献していきます。

●企業誘致

九電グループでは、九州全土を結ぶネットワークを活かして、九州域外からの企業誘致にも積極的に取り組んでおり、九州への進出を検討する企業に対し、ICTサービスの提供や、用地・オフィス確保のお手伝い等、グループの経営資源を活用したサポートを行っています。

特に、九州電力送配電(株)では、各工業団地等への電力供給に関する様々なご相談をお受けするとともに、進出候補地として、自治体の所有する工業団地や自社が保有する遊休地をご紹介します。

今後も、自治体と連携しながら、グループ各社の強みを活かした企業誘致を進めていきます。

九州電力 企業立地

検索

■九州への企業立地のご案内

九州電力(株)ホームページ